



■薬師堂跡 旧道にたたずお堂の跡

飯能市の指定文化財で鎌倉前期の作とされる「木造薬師如来坐像」(智観寺蔵)はここにあったものです。この場所には今は文政4(1821)年に建てられた石仏があります。

■水田 中世の面影を今に伝える

かつて中山堀沿いに広がっていた水田は、今は湿地となり、一部は埋め立てられ、その面影はほとんど残っていません。しかしこの谷に開かれた水田(谷津田)は、中世の武士たちが汗水たらして開墾したものかもしれません。

① 鶴舞地蔵尊 昔から通行する人を見守っていました

「鶴舞」は中山村の小字です。向かって右側が地蔵菩薩で、文化7(1810)年に造立されたものです。正面

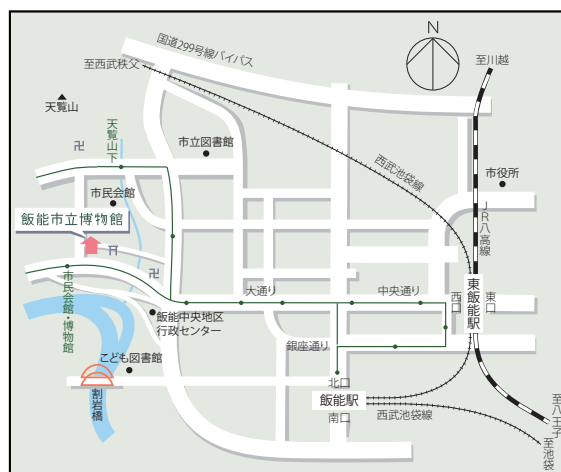


台座に「右こまみち 左ちちぶみち」と刻まれ、道しるべにもなっています。左側は馬頭観音で、ここが昔から道が分かれる辻であったことがわかります。

展示をご覧になったあとは、

このマップをお供にぜひ市内へお出かけください。

新たな出会いや発見があなたを待っているはずです。



- ▲ **アクセス**
- 西武池袋線飯能駅から徒歩約15分
 - JR八高線東飯能駅から徒歩約25分
 - 飯能駅および東飯能駅より国際興業バス名栗方面「市民会館・博物館」バス停下車徒歩3分、または西武飯能日高方面「天覧山下」バス停下車徒歩2分

- ▲ **利用時間** 午前9時から午後5時まで

- ▲ **休館日**
- 月曜日(祝祭日を除く)
 - 祝日の翌日(祝祭日の場合は開館)
 - 年末年始(12/28~1/4)

- ▲ **入館料** 無料

▲▲▲ ホームページ・Facebook 更新中 ▲▲▲

博物館・学芸員の日常や仕事の裏側などをお伝えしています。



Facebook



ホームページ



twitter



飯能市立博物館
Hanno Municipal Museum

〒357-0063

埼玉県飯能市大字飯能258-1
TEL (042) 972-1414 FAX (042) 972-1431
E-mail: museum@city.hanno.lg.jp

20190331

飯能市立博物館

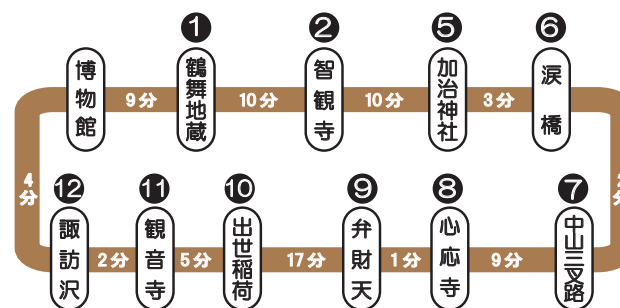
(愛称) きつとす

お出かけガイドマップ②



旧中山村の魅力を訪ねるコース

[約10km]



ひとむかし前の中山

現在の飯能市大字中山は国道299号バイパス沿いの限られた地域ですが、江戸時代の中山村は前田地区(西武池袋線の南側)も含む南北に広い場所でした。

背後にある山からは丹生堀、西の方からは中山堀の2つの沢が流れ、最近まで、水田、畑、山がそろっている自然豊かな地域でした。

中山氏やその菩提寺・智観寺など武士の足跡も残る歴史遺産豊かな中山地区の見どころを紹介します。

② 智観寺 中山の見どころはここに集中!

智観寺は真言宗豊山派のお寺で、元慶年中(877~885)に丹治武信が関東にやってきて、智観寺と丹生明神社を創建したとされています。寛永19(1642)年に中山信吉が死去するとその子、信正は伽藍を再興し、丹生明神社を整備しました。

智観寺には、中山信吉の御霊屋であった御影堂に収められていたもののほか、寺の歴史や中山村の旧家に伝わる資料を保存、展示する収蔵庫があり、年1回、10月の最後の日曜日に無料で公開されています。また、史料集である『武州高麗郡中山村記録』・『武州智観寺誌』も刊行しています。

かくれた名所

○ほほえみの丘

中山西の交差点の登り口から高麗峠へ向かって10分ほどで陽当たりのよい、広い平坦地が現れます。ここが西武鉄道(株)によって平成23年に作られた「ほほえみの丘」です。四季折々の花が咲き、小鳥が喜ぶ森林づくりを目指す憩いの場をめざしています(案内板より)。丸太で作った椅子もあって、天気の良い日には、小さな子どもたちも安心して遊ぶことのできる広場です。